wena wrist active NERV Edition

ナイロンバンド取り付け方説明資料

START

GOAL

ナイロンバンドの組付けとサイズ調整　１／５

①個装箱の蓋を開け、ヘッドとactive本体がはめ込まれた
ウレタンクッションを取り出します。

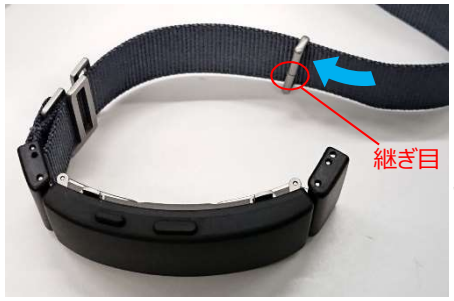
②ウレタンクッションからActive本体を取り外します。
工場出荷状態ではナイロンバンドが片側に通してあります。

③ステンレスループを取り外します。

④タックバックルに仮留めされている部分を外して、代わりに根本付近を
一旦仮留めしておきます。（後の作業がやりやすくなります）

ナイロンバンドの組付けとサイズ調整　２／５

⑤継ぎ目の有る方をActive本体側に向けて
ステンレスループを通します。



⑥ナイロンバンドの先端を、Active本体のもう一方の
バンドコネクタのばね棒部に通します。
内側⇒外側の方向。

⑦さらに、ステンレスループにも通します。

⑧ここで一旦腕に装着して、仮のサイズ調整を行います。
この時点では、指1本程度の余裕を持たせる程度にナイロンベルトの
締め付けを調整してください。（写真では指の代わりにペンを使用）

⑨仮サイズ調整した状態のまま腕から外し、
ステンレスループをバンドコネクタ側に寄せて、
サイズ調整した状態からずれにくくします。

ナイロンバンドの組付けとサイズ調整　３／５

⑩ヘッドにばね棒を取り付けます

【ヘッドへのばね棒のつけ方】

ばね棒をヘッドに着ける際にもばね棒外し冶具を使います。
ばね棒外し冶具の先端はばね棒のフランジ（ばね棒先端付近の出っ張った部分）にちょうど引っかかる形状になっているので、
ここに引っ掛けてばね棒を一旦縮め、ラグ穴の部分で離せば取り付けられます。
ばね棒外しを使わなくてもピンの頭を押し込めば付けられますが、ラグに傷をつけてしまう可能性が高くなります。

こんな風に作業すると付けやすいです。（ここは動画を見た方が良いです）

Ⅰ.ばね棒の片側をラグ穴に挿して、
親指と中指で保持する。
この持ち方がポイント。

Ⅱ.ばね棒外しを
ひっかけて縮めます

Ⅲ.ばね棒先端を
ラグの内側に潜り込ませます

Ⅳ. ばね棒先端をラグ穴の位置に
合わせ、ばね棒外しを離します。

ナイロンバンドの組付けとサイズ調整　４／５

⑪ばね棒と時計ケースの間に、
ナイロンバンドを12時方向から通していきます。

⑫ヘッドにナイロンバンドを通した後、
ヘッドの向きを再確認してください。
時計のりゅうず，タックバックルの3本見えている側，
active本体のボタンの有る側が同じ面に来ます。

⑬ナイロンバンドの先端をタックバックルの
ヘッド側の穴に図の様に通します。

⑭この状態でActive本体のバックル操作により
腕を通し、締め付けを調整してください。

⑮調整した状態からズレない様に注意しつつ
タックバックルの仮留めを外し、ナイロンバンドの先端を
バンドコネクタ側の穴に通します。
（縫い付けてあるバンドのもう一端と2本通す形になります）

ナイロンバンドの組付けとサイズ調整　５／５

⑯タックバックルから目安10mmくらいの場所で折り返し、
タックバックルの仮留めに使っていた箇所に差し込みます。

⑰完全に差し込んだ後、留め部からナイロンバンド先端までが余長です。
余長は留め部付近で切断します。
（下図赤線付近に目印を書いておくと、切断時の切りすぎ防止になります）

⑱余長切断。一旦留め部から外して
ハサミで切ります。

⑲切断部を留め部に再び挟みます。
通常、ナイロンバンドは鋏で切るとどんどんほつれて行ってしまいますが、
挟んでいる部分でほつれが止まります。

⑳完成！

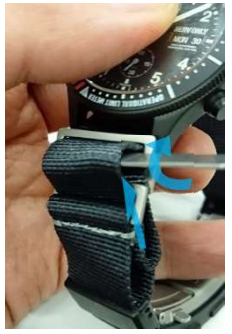
完成後に微調整したくなった場合は・・

１．バンドコネクタ部で調整

バンドコネクタ部にはばね棒を付ける穴が2か所ずつあるので、
ばね棒の取り付け位置を動かすことで、
僅かにサイズ調整を行うことができます。

２．ナイロンの折り返し部で調整

タックバックル付近の折り返し部の長さを調整することで、
わずかにサイズを調整することができます。

Ⅰ.ばね棒外しを下図の箇所に差し込んで・・・

Ⅱ.ひねるようにすると、折り返し部分の余長を引っ張り出せます。